千代田区における熱中症予防対策について

千代田保健所 地域保健課
保健師　三﨑　真理

2018/ 6/ 4

地域保健課健康企画係の主な業務

１．地域医療の推進

１）休日応急診療所、平日準夜間小児初期診療
２）患者の声相談　３）三師会連絡調整（医師会定例会等）
４）災害医療連携

２．健康づくりの推進

１）第二次健康千代田２１の推進　２）健康づくり推進員制度
３）新たな健康づくり推進事業検討会

３．健康危機管理対策

１）新型インフルエンザ対策　２）**熱中症予防対策**

４．歯科口腔保健の推進

東京都千代田区の紹介

東京の玄関口　東京駅

皇居　二重橋前

国会議事堂

桜の千鳥ヶ淵

千代田区の概要

人口：61,269人（平成30年1月1日住民基本台帳）
世帯数：34,344（平成30年1月1日住民基本台帳）
昼間人口：853,068人（平成27年10月1日国勢調査）
面積：11.66k㎡

日本武道館

神田明神

秋葉原

千代田区の特性　（高齢者分野）

（1）千代田区の人口

平成20年：45,461人　→　平成29年：59,788人

年々増加傾向で、10年間で1.4万人以上増加

（2）高齢者人口

平成20年：8,979人　→　平成29年：10,786人

（3）高齢化率

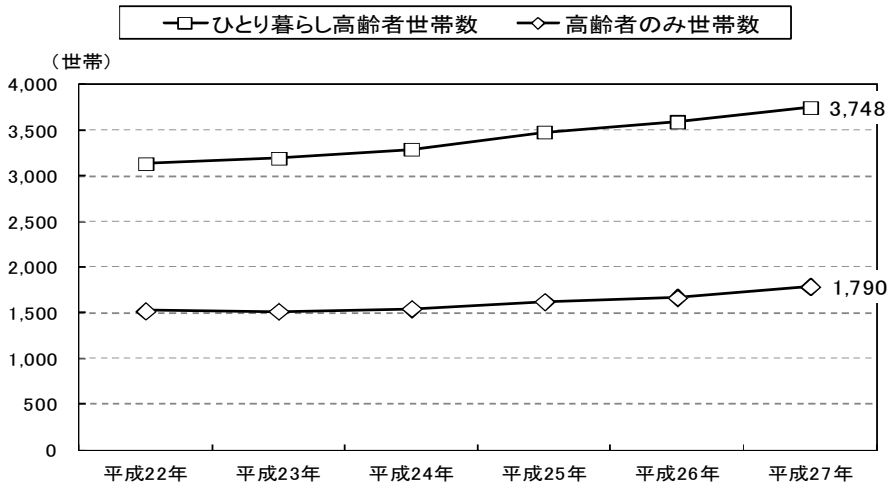
平成20年：　19.7%　→　平成29年：　18.0%

高齢者人口は増加しているが、高齢化率は低下傾向

（1）～（3）　千代田区行政基礎資料集

（4）高齢者のみ世帯（一人暮らし含む）の推移

高齢者のみ世帯（一人暮らし含む）が増えています‼
生活の困りごとや介護等外部からの支援を
必要としている高齢者が増えています



出典：保健福祉部高齢介護課（各年1月1日）

東京都23区における熱中症死亡者の状況（6月～9月）

年度	検案数	解剖数	熱中症死亡数
22	4603人	898人	210人
23	4179人	721人	79人
24	3787人	659人	49人
25	4061人	646人	142人
26	3669人	583人	52人
27	3913人	685人	119人
28	3577人	581人	25人（暫定値）

東京都監察医務院（東京都23区）

平成22年は熱中症が社会問題になった年

翌年23年から千代田区では熱中症対策を健康危機管理の一環として取り組んでいる

取り組み内容

（１）普及啓発

①広報紙に熱中症予防関連の記事を掲載

②防災行政無線・安全安心メールの配信

③ちらし・うちわ等の配布

④介護保険料決定通知にちらしを同封

（65歳以上の全区民に送付）

千代田保健所内

うちわやちらしに英語表記を追加

普及啓発活動の様子

おもてなし給水

ランナー
支援施設

（２）ひと涼みスポットの設置

「ひと涼みスポット」とは
　冷房の効いたスペースを活用して一休みできる場所
　・休憩や水分補給により熱中症を予防する
　・熱中症の正しい知識の啓発を行う

千代田保健所

平成26年度　公共施設に試験的に設置
　　27年度　民間施設にも拡充して設置

実績

設置期間：7月上旬～9月中旬

設置数：公共施設23か所　民間施設11か所

平均滞在時間：14分（保健所利用者の平均）

ひと涼みスポットマップ

ひと涼みスポットのマップを作成しました。

（３）高齢者熱中症予防訪問事業

対象： 85歳以上の独居または高齢者のみ世帯で介護保険サービスを利用していない方

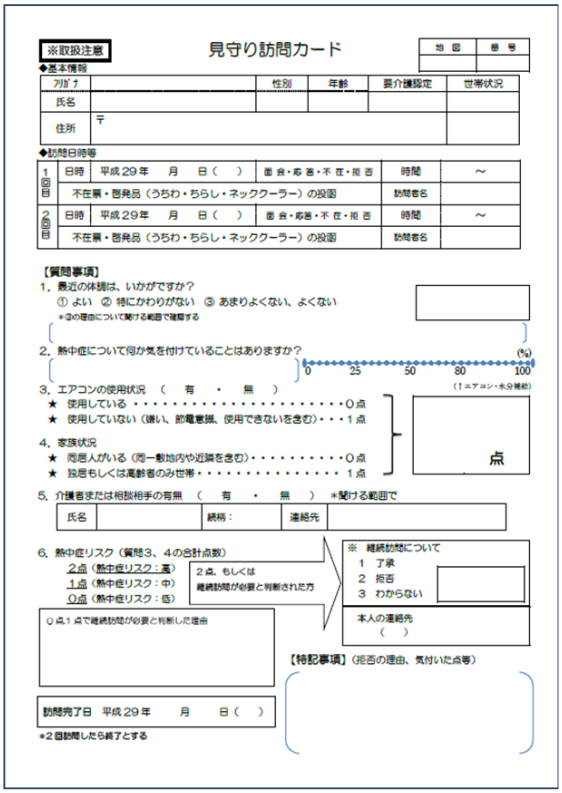
実施形態：

85～89歳　保健所が業務委託した訪問看護師が訪問

90歳以上　出張所の職員が訪問

※平成22年の「高齢者所在不明問題」を受けて、当区では出張所職員が90歳以上の高齢者に対して年に2回安否確認の訪問を実施している。

高齢者熱中症予防訪問事業の記録用紙



見守り訪問カード

※取扱注意

地図　番号

◆基本情報

フリガナ		性別	年齢	要介護認定	世帯状況
氏名					
住所	〒				

◆訪問日時等

1回目	日時	平成29年　月　日（　）	面会・応答・不在・拒否	時間	～
	不在票・呼発呈（うちわ・ちらし・ネッククーラー）の投函			訪問者名	
2回目	日時	平成29年　月　日（　）	面会・応答・不在・拒否	時間	～
	不在票・呼発呈（うちわ・ちらし・ネッククーラー）の投函			訪問者名	

【質問事項】

1、最近の体調は、いかがですか？
① よい　② 特にかわりがない　③ あまりよくない、よくない
＊③の理由について聞ける範囲で確認する

2、熱中症について何か気を付けていることはありますか？
（%）　0　25　50　80　100

3、エアコンの使用状況（　有　・　無　）
★ 使用している・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・0点
★ 使用していない（嫌い、節電意識、使用できないを含む）・・・1点

4、家族状況
★ 同居人がいる（同一敷地内や近隣を含む）・・・・・・・・・・0点
★ 独居もしくは高齢者のみ世帯・・・・・・・・・・・・・・・1点

（1エアコン・水分補給）

点

5、介護者または相談相手の有無（　有　・　無　）＊聞ける範囲で

氏名		続柄：	連絡先	

6、熱中症リスク（質問3、4の合計点数）
2点（熱中症リスク：高）
1点（熱中症リスク：中）
0点（熱中症リスク：低）

2点、もしくは継続訪問が必要と判断された方

※ 継続訪問について
1 了承
2 拒否
3 わからない

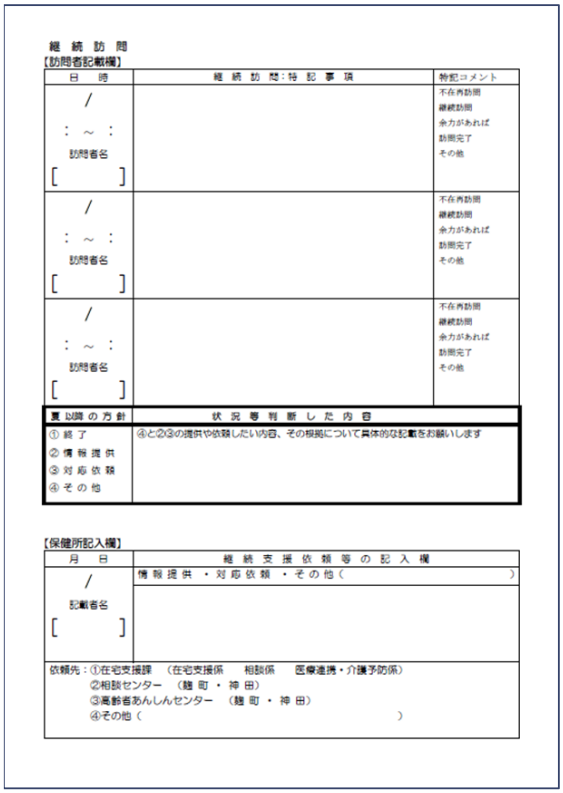
本人の連絡先
（　）

0点1点で継続訪問が必要と判断した理由

【特記事項】（拒否の理由、気付いた点等）

訪問完了日　平成29年　月　日（　）

＊2回訪問したら終了とする



継続訪問

【訪問者記載欄】

日時	継続訪問：特記事項	特記コメント
/ ：～： 訪問者名 [　]		不在有訪問 継続訪問 余力があれば 訪問完了 その他
/ ：～： 訪問者名 [　]		不在有訪問 継続訪問 余力があれば 訪問完了 その他
/ ：～： 訪問者名 [　]		不在有訪問 継続訪問 余力があれば 訪問完了 その他

夏以降の方針	状況等判断した内容
① 終了 ② 情報提供 ③ 対応依頼 ④ その他	④と②③の提供や依頼したい内容、その根拠について具体的な記載をお願いします

【保健所記入欄】

月日	継続支援依頼等の記入欄
/ 記載者名 [　]	情報提供　・対応依頼　・その他（　）

依頼先：①在宅支援課　（在宅支援係　相談係　医療連携・介護予防係）
②相談センター　（麹町・神田）
③高齢者あんしんセンター　（麹町・神田）
④その他（　）

高齢者熱中症予防訪問事業の実績（平成24～29年度）

内容：

①6月下旬から7月に全対象者訪問

- **啓発品（ちらし、うちわ、ネッククーラー）の配布**
- **熱中症への注意喚起と実態把握**

表1　訪問対象者数および延訪問者数

年度	訪問対象者数				延訪問者数
	85～89歳	90歳～	その他	合計	
24	472人	199人	45人	716人	810人
25	458人	225人	1人	684人	746人
26	537人	278人	1人	816人	932人
27	494人	201人	0人	695人	843人
28	526人	219人	0人	745人	876人
29	512人	228人	0人	740人	907人

＊その他は、エアコンがない者、対象以外の希望者等

②継続支援が必要な対象者の選定

- **熱中症ハイリスク者**

  （家族の見守りがなく、エアコン使用しない者）

- **セルフケア困難者**

表2　実態把握により継続支援が必要な対象者

年度	熱中症ハイリスク者	セルフケア困難者	合計
24	10人	30人	40人
25	12人	55人	67人
26	25人	13人	38人
27	9人	11人	20人
28	16人	33人	49人
29	4人	7人	11人

③継続支援が必要な対象者への訪問実施

・関係機関との連携

表3　関係機関への情報提供や対応依頼者数

年度	情報提供	対応依頼	合計
24	7人	11人	18人
25	42人	15人	57人
26	8人	12人	20人
27	3人	10人	13人
28	12人	11人	23人
29	2人	8人	10人

（４）地域における声かけ・見守り活動

対象：熱中症が心配な高齢者や障害者等

特に（３）高齢者熱中症予防訪問事業の
対象とならない方

訪問実施者：民生・児童委員、町会役員等

実績：

表4　地域における声かけ・見守り活動数

年度	民生・児童委員 延べ訪問者数	町会役員等 啓発品配布数
27	519名	399本
28	695名	687本
29	745名	686本

考察

高齢者の熱中症予防対策における継続支援が必要な者

〇エアコン使用の有無

◎定期的な見守りの有無

セルフケアができるかどうか

＊介護保険未利用者は必ずしも自立していない

- 支援が必要であるのに適切な支援介入がないまま地域に潜在している高齢者が多い
- 高齢者熱中症予防訪問事業は困難事例化を予防する早期把握・早期対応の取組みとしても有効である

今後の課題

- 東京オリンピック・パラリンピックに向けて外国人対応策の充実
- ひと涼みスポットの充実
  →協力いただける事業者の拡充・連携
- 訪問事業対象以外の熱中症弱者に対する支援体制の構築
  →民生・児童委員、町会役員の見守り活動との連携

ご清聴ありがとうございました

千代田区役所

千代田区役所前　打ち水